

ふらの

市議会だより

平成20年

第40号

2008.11

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



なるぞ富良農人（扇山小5年生の農業体験学習）

平成20年 第3回 定例会

9月9日～9月24日
(16日間)

主な内容

- ・議決結果 P 2・3
- ・一般質問 P 4～8
9名の議員が市政全般について質問
用語解説
- ・委員会報告 P 9～11
- ・議会日誌・編集後記等 P 12

平成20年第3回定例会議決結果表

議案番号	事件名	議決月日	議決結果
(20年第2定)議案第2号	富良野演劇工場設置及び管理に関する条例の全部改正について	9月9日	原案可決
議案第1号	平成20年度富良野市一般会計補正予算(第4号)	9月24日	原案可決
議案第2号	平成20年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月24日	原案可決
議案第3号	平成20年度富良野市老人保健特別会計補正予算(第1号)	9月24日	原案可決
議案第4号	平成20年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	9月24日	原案可決
議案第5号	平成20年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	9月24日	原案可決
議案第6号	富良野市農業及び農村基本条例の制定について	9月24日	継続審査
議案第7号	富良野市情報公開条例の一部改正について	9月24日	原案可決
議案第8号	富良野市議会議員の報酬及び費用弁償の支給条例の一部改正について	9月24日	原案可決
議案第9号	富良野市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について	9月24日	原案可決
議案第10号	富良野市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について	9月24日	原案可決
議案第11号	富良野市公園条例の一部改正について	9月24日	原案可決
議案第12号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月9日	原案同意
議案第13号	北海道市町村備荒資金組合規約の変更について	9月24日	原案可決
議案第14号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月9日	選任同意
議案第15号	平成20年度富良野市一般会計補正予算(第5号)	9月24日	原案可決
議案第16号	議員の派遣について	9月24日	原案可決
認定第1号	平成19年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第2号	平成19年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第3号	平成19年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第4号	平成19年度富良野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第5号	平成19年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第6号	平成19年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第7号	平成19年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第8号	平成19年度富良野市水道事業会計決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第9号	平成19年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	9月9日	継続審査
報告第1号	平成19年度健全化判断比率について	9月9日	報告済
報告第2号	平成19年度資金不足比率について	9月9日	報告済
報告第3号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月9日	報告済
報告第4号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月9日	報告済
報告第5号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月9日	報告済
意見案第1号	道路整備に必要な資源の確保に関する意見書	9月24日	原案可決
意見案第2号	学校耐震化に関する意見書	9月24日	原案可決

平成20年度補正予算

一般会計（第5号）

補正予算第5号は追加議案と

及び指定訪問看護に係る医療費を追加するものです。

人事

●一般会計（第4号）

歳入歳出予算の総額に、それ
ぞれ6805万1千円を増額し
総額107億159万8千円に
なりました。

今回の補正予算は、増額分として、東雲通交差点改良工事費

弾力的な運行を行なうための小型バス購入費240万円、市道五区3線道路改良工事費188万7千円、東小学校の重油漏れ事故に伴うオイルファンス及びオイル吸着マット購入費150万円の増額分3件で、原案のとおり可決しました。

条例

◆次の条例を原案どおり可決しました。

北海道医療給付事業の改正に伴い、精神障害者保健福祉手帳1級に該当する方を助成の対象者にするものです。（通院のみ）

●富良野市公園条例

富良野圏域住民がパークゴルフ場を利用する場合、富良野市民と同一の料金で利用できるよう改めるものです。

同意した表彰

◇表彰条例に基づく表彰で次の4名の方の表彰に同意しました。

東海林 敏昭 氏

玉手洋子氏
〔教育・文化・体育・科学技術の振興〕

審査を委員会に付託

◇次の条例は内容を審査するため経済建設委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。

●富良野市情報公開条例

情報公開制度の拡充を図るため、電磁的記録を情報公開の対象にするための改正です。

●富良野市議会議員の報酬及び 費用弁償等の支給条例

地方自治法の一部改正に伴い
議員報酬の名称を「報酬」から
「議員報酬」に改めるものです。

決算の認定

その他の案件

●北海道市町村備荒資金組合規

●富良野市乳幼児医療費の助成 に関する条例

「議員報酬」に改めるものです。

減額分として、扇瀬公園の防護柵設置工事費57万2千円、福祉のまちづくり事業委託料10万円、実習病院等実習指導者養成費補助金36万2千円が主なものとなつており、原案のとおり可決しました。

北海道医療給付事業の改正に伴い、助成対象に小学生の入院

北海道医療給付事業の改正に伴い、助成対象に小学生の入院

一般質問

大橋秀行

〔民主クラブ〕

耕作放棄地の現状は



耕作放棄地

答 問題は、耕作放棄地の面積は、平成18年3月末時点ですべて9ヘクタールである。

平成18年3月末時点で17
クタールである。

答 耕作放棄地に至る背景は、高齢化による労働力不足や生産性が低い農地の受け手がい

根本的な要因は農産物価格の低迷から来る収益性の悪化、農家経済の疲弊が耕作放棄地を発生させる最大の要因である。

問 耕作放棄者に 対して指導等を行つて いるのか。

答 土地状況と地域における不適切な農地利用など、農地パトロールの際に指導等も併せて行っている。耕作放棄地については本年度、農林水産省より5年後の解消に向け指示があり、農業委員会も解消に努めていく。

問 国に耕作放棄地の解消策を提示しなければならないと思うが、進捗状況は。

答 現在調査中で、11月末に北海道に報告する。

問 農地の受け手である担い手の育成、新規就農者の援助、法人の立ち上げ支援等、農業者のサポート体制が必要では。

答 沿線の市町村や、ふらの農協など関係機関・団体で「ふらの地域担い手育成総合支援協議会」を組織し、担い手育成に係る農業簿記研修会などの各種研修会、法人セミナーなど法人の育成支援、新規就農者交流会などの支援を行っている。

答 土地状況と地域における不適切な農地利用など、農地パトロールの際に指導等も併せて行つてはいる。耕作放棄地については本年度、農林水産省より5年後の解消に向け指示があり、農業委員会も解消に努めていく。耕作放棄地の解消策を問うべきではないと思う。

の地域担い手育成総合支援協議会」を組織し、担い手育成に係る農業簿記研修会などの各種研修会、法人セミナーなど法人の育成支援、新規就農者交流会などの支援を行っている。

問 耕作放棄地の予防策で、北海道が取り組んでいる「農業再生委員会」のようなワンストップサービスの事務所が必要ではあるが、必要性は認識している、関係機関と協議、検討する。

答 現在調査中で、11月末に北海道に報告する。

問 農地の受け手である若い手の育成、新規就農者の援助、法人の立ち上げ支援等、農業者のサポート体制が必要では。

答 核家族 共働き 一人親家庭が増加傾向にある。それに伴い非行防止、子育て支援の観点からも学童保育の需要は高まっている。保育申請された児童の待機者はいないか。

東部児童センター以外は、

答 定員を上回って登録。該当者で待機児童はない。
問 緑町児童館の改築計画や法務局跡地活用など二転三転しているが、どのようになったか。
改築は平成22年度を予定し

A black and white photograph showing the exterior of a modern library building. The building has a light-colored, textured facade. On the left, there's a covered porch area with several windows. In the center, there's a large glass-paned entrance door. To the right, there are more windows and a small sign. The building is surrounded by some landscaping, including shrubs and a gravel area.

狭隘の緑町学童保育センター

答 試験栽培を行つた農家は5戸、作物はメロン、食用馬鈴薯、かぼちゃ、全体で40アール。収穫が終わつたメロンは10アールで約2400kg。慣行農法に比較して大きな収量の差異はなかつた。馬鈴薯、かぼちゃについても同様と思う。

問 事業の継続と農家が安心して作付けできる、販路の確保、加工技術の開発が大切と思うが。農協出荷、個人販売を行つてゐる。加工は行つていない。

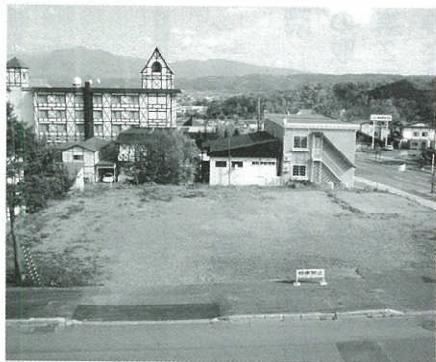
問　樹海東小の跡地に地域再生と位置づけたオーガニックアカデミーを誘致した。今年の参加農業者数、作物の種類、作付け面積、収穫実績は。

ていたが、23年度以降に延期。法務局跡地は協議が中断している。扇山小学校区には2つの児童センターが必要である。

問 現況が狭隘化している。今年からは利用料も徴収。改築、法務局跡地解決までの対策は。

答 他の児童センターに分散も検討する。場合によつては、車による送迎も検討する。

一般質問



コンドミニアム建設予定地

天日公子

〔民主クラブ〕

コンドミニアム建設の対応は

問 今まで富良野には無かつた仕組みの建物であり、市民として、どのように理解し受け入れてよいのか、不安がありよく分らない。富良野市としてはコンドミニアムをどのようなものと認識しているのか。

答 コンドミニアムの形態は賃貸型のリゾートマンションや貸し別荘タイプがほとんどであると認識している。

問 今後の外国人投資についてはどのように考えていくのか。

答 滞在者には、周辺住民が普段守っている地域コミュニティルールの遵守が必要であり設置者への指導を行う。関連事業者への影響は、建物の建設や維持管理による地域への事業効果や雇用が期待される。

問 コンドミニアムを受け入れるための建物の基準は。景観・環境の対応は。

答 建設が想定される地域としては北の峰・御料地区が考えられる。北の峰地域では用途地域の指定により規制。御料地域の都市計画区域の白地地域に対しては特定の用途の建築を制限するための市独自の規制を本年5月に施行。「富良野らしさの自然環境を守る条例」で事業等による環境の悪化や自然環境に悪影響を及ぼす恐れのある行為に伴う紛争を、未然に防止するため、特定の事業の実施に当たり事前協議を行うとしている。

答 外国人による投資が予想される。市内に投資されることは、地域経済の活性化が、図られるものと考える。

問 予想される、市民・事業者への影響と対策は。

答 滞在者には、周辺住民が普段守っている地域コミュニティルールの遵守が必要であり設置者への指導を行う。関連事業者への影響は、建物の建設や維持管理による地域への事業効果や雇用が期待される。



協会病院跡地

宮田均

〔無所属〕

中心市街地活性化の今後は

問 駅前地区にトイレ、駐車場が足りないとと思うが。77ha全體での取り組みは。

答 トイレは「ふらっと」、駅前広場」の4箇所がある。駐車場は駅東側、有料駐車場含め6箇所配置した。「ふらっと」施設利用者駐車場は新しく東2条、朝日通角に28台分駐車場をつくりた。公衆トイレ・駐車場の整備は完了した。今後は、まちなか賑わい創出と歩行者の増加、回

遊性を高める事業として、まちなみ駐車場を計画している。

問 この計画に於ける市と民間の役割分担は。

答 コンパクトな都市機能の実現を目指し行政は支援協力を行い、事業実施は株まちづくり会社が行う。協会病院跡地は賃借で行い市は土地を整備する。その後は売却も考えている。

アイヌ文化教育の現状は

問 二千年～三千年、自然と共に生して来た先住民族アイヌの生活・文化は環境面、北海道独自の文化を築く上で重要と考える。学校教育、社会教育にどのように取り組んでいるのか。

答 アイヌ民族が先住民族である事が国の見解として発表された。学校教育では「小学校社会科副読本」と「アイヌ民族、歴史と現在」を配布している。今後も市民に理解されるよう啓発活動に取り組んでいく。

【その他の質問】

- ◇市道清水山線の開通時期は
- ◇物産センターの今後について
- ◇生涯学習センターのイベントについて

一般質問

大栗民江

〔公明黨〕

ごみ処理券の販路拡大を

問 粗大ごみなどのごみ処理券の取り扱い拡大について、19年第2回定例会以降、ごみ処理券の交付事業についてどのような協議をされたのか。協議結果はどうなったのか。

答 販売店の意向をふまえ、部内にて協議検討の結果従来通りが妥当と判断。粗大ごみ等のごみ処理券の販売・指導について高齢者・独居老人・身体障がい者については、電話対応、直接訪問により販売を継続する。

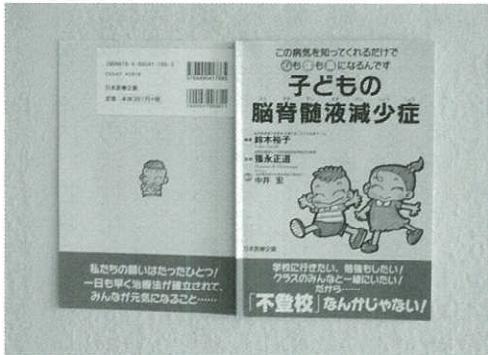
り、中学では上回っている。万全な対応に努めている。

脳脊髄液減少症に理解を

問 起立したときにひどくなる頭痛等の症状がでても、叱咤激

励を受けてしまい、将来に不安を抱えている子どもが、不登校の児童生徒の中に存在する可能性の高いことがわかつた。

文科省は、昨年5月、学校におけるスポーツ外傷等の後遺症への適切な対応についての連絡をした。この実態についての認識と今後の取り組みは。



子どもの脳脊髄液減少症に理解を

千葉健

〔民主クラブ〕

自然エネルギー創出の考えは

問　環境問題が世界中で問われている中で、自然環境に優しいエネルギーの創出が叫ばれている。本市は多くの山林、河川等を有し、自然エネルギーの創出には適していると思われるが市

答 自然エネルギーは、環境や人にも優しいエネルギーと認識している。立地条件、自然的条件、費用対効果等課題があり各関係機関や民間企業から情報収集を行い、今後、調査研究が必要と捉えている。

間 地域コミュニケーションセンターも指定管理施設となり3年目を迎えていたが、利用実態に低下はないか。また、使用料収入低下の影響が利用者負担の増加や利用低下になつていなか。

答 平成11年4月より指定管理制度を導入し、24の施設を地域



18年より導入された指定管理施設

の運営委員会が指定管理者となる
り、管理運営されている。

利用人数は、ほぼ横ばいの状況にあるが、使用料収入は平成19年度実績369万4千円で、前年度対比21・4%の減となつてゐる。葬儀会場が地域会館から民間斎場に移行している事が大きな要因と思われる。

住民一世帯当たりの負担額は、18年度の300円から19年度、約525円に増加してゐる。年

一般質問

覚幸伸夫
〔民主クラブ〕

高齢者雇用の対策として



高齢者雇用対策窓口の
ハローワークふらの

問 高齢者雇用対策として就職希望の実態と高年齢雇用継続給付制度を市が案内しては。

答 現在、60歳以上の方は法人富良野シルバー人材センターで199名の登録があり、仕事をされている。また、ハローワーク富良野に求職登録は、65歳以上の高齢者で23名、有効求人数は56名である。60歳から65歳までの高年齢雇用継続給付制度は、厚生労働省である機関のハローク富良野と連携。また、60

歳からの在職老齢年金は、社会保険事務所と連携して市民への周知に努めて行く。

広瀬寛人
〔無所属〕

道路整備の歩道確保

駅および周辺の交通安全確保への対応は

問 学童が通う市道南4丁目4の歩道拡幅と冬期の安全確保は。

答 Aコーポフォーレスト店東側から朝日通の幅員7・27mで農地と隣接し、23年度以降に検討して行き、冬期間は道路幅員確保に努めたいと考える。

問 道道東山富良野停車場線の計画歩道の進捗と継続要望は。

答 布礼別地区歩道は、布礼別小中学校から新富丘線交差点までの970mで、21年度完了と旭川土木現業所から聞いている。継続して富布橋から経由しての700mを要望して行く。

問 過疎対策と地域教育振興のため、家族も移住して貰い、学校閉鎖とならない考えはないか。

答 山村留学制度の導入は考えていないが、移住・定住を促進しており、19年度は9人、20年度は13人が移住され、今後も地域や学校の活性化に努める。

問 駅構内から交差点に出る際の赤点滅信号の意味と周知、安全確保の対応は。

答 道路交通法で「車両等は停止位置において一時停止。他の交通に注意して進行しなければならない」となつており歩行者や対面車両が優先車両であるこ

とを認識しなければならず、わかりづらいとの指摘もあるが、市民には交通安全運転に努められることを願う。

東4条交差点の信号機設置の目処は。

問 東4条交差点の信号機設置の目処は。

答 朝日通りの完成にあわせて要望しているが年度内の設置予定と聞いている。

問 駅及び駅周辺施設利用者以外の方の長時間駐車への対応は。

答 迷惑な長時間駐車などは遠慮願う。あらためて広報等を通じ利用に当たつてのお願いをする。

問 バス事業者以外のバスの乗降場所への対応は。

答 駅前広場バスレーンは路線バス以外のバスおよび一般車の進入は出来ない。北の峰地区宿泊施設などの送迎バス、大型観光バスは、ふらの駅前北公園トイレ横の駐車場の利用をお願いしたいと考へる。

問 駅構内から交差点に出る際の赤点滅信号の意味と周知、安全確保の対応は。

答 道路交通法で「車両等は停止位置において一時停止。他の交通に注意して進行しなければならない」となつており歩行者や対面車両が優先車両であるこ



駅周辺の安全対策

宍戸義美

〔民主クラブ〕

原油高騰に関する営農対策

問 年度途中での原油高騰は農業資材を始め生活必需品に至る全般について一段と値上がりした。生産者は生産コスト削減に努力しても作れば作るほど赤字になる。市長は原油高騰に関する農業経営の現状と把握は。

答 中国など石油需要の増加で農業生産資材も世界的に高騰している。原油高騰は長期化すると思われ、農業経営への影響も長期化するものと考えている。

問 営農継続緊急対応で現在実施している中山間地域等直接支払事業の実施状況と効果は。

答 平成17年から実施、半額が傾斜地所有者、残り半額は集落協議会で条件不利地の耕作放棄の発生防止に取り組んでいる。

問 中山間地域等補助事業は21年が最終。農業支援策に再度継続の要請が必要だか対応は。

答 事業効果が非常に大きく継続が必要と判断、道農政部と地

元国会議員及び農林水産省に対し継続の要請を7月2回、今後も道市長会から国へ要望する。

有害鳥獣の鹿柵など被害対策

問 有害鳥獣の被害対策では、電気牧柵や鹿柵の未設置の地域に新たな被害地域が発生する。今後の鹿柵設置計画とハンターの増員など育成計画と状況は。

答 今年東山地区に鹿柵を設置。

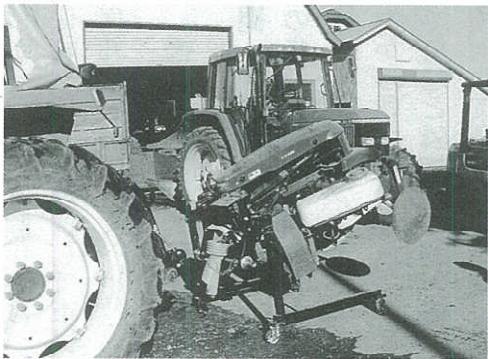
今後は全市対策協議会を設立し推進が必要。尚ハンターの育成は急務であり狩猟免許取得費用の一助として増員に努める。

【その他の質問】

◇介護保険事業の現状

◇交通安全方針の推進状況

◇道路等危険箇所の改良計画



中山間地事業で導入の機械

地域再生計画

国が一方的に支援するのではなく、地域が自ら考え、行動することを通じて、地域経済の活性化と地域雇用の創造を計る。

用語解説

健全化判断比率

4つの指標で判断します。

・実質赤字比率

地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す。

・連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方団体全体としての赤字の程度を指標。

ISO 14001

国際標準化機構が発行した環境マネジメントシステムで、組織

(企業、各種団体など) の活動、製品及びサービスによつて生じる環境への影響を持続的に改善するためのシステムを言う。

・実質公債費比率

借金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。

・将来負担比率

地方公共団体の一般会計の借入金(地方債)や将来、支払つ

ていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を示したもの。

開放型病床

地域センター病院(協会病院)

のベッドの一部を開業医の「かかりつけ医」に開放した病床のことと言います。

開放型病床に入院した患者をかかりつけ医が訪問し、地域センター病院の医師と共にして治療を行なうことにより、患者は人院中から退院後まで一環した治療を開業医と病院で受ける事ができます。

高年齢雇用継続給付制度

本格的な高齢化社会において、高年齢者の働く意欲と能力に応え65歳までの雇用の継続を援助・促進するための制度で、60歳以上65歳未満の被保険者の方が、原則として60歳到達時の賃金と比較して、75%未満の賃金で雇用されている場合に給付金が支給されます。

本委員会では、「地球温暖化防止対策」について、本市の取り組みの現状と課題の把握に努め、更に、先進地における都市事例調査も実施し、調査を進めて参りました。

■富良野市地球温暖化防止計画

本市では平成13年4月に「富良野市環境基本条例」が施行され、この基本理念を実現するため、「富良野市環境基本計画」を策定。そして人為的に排出される温室効果ガスの排出量の削減を図る目的で、環境基本計画の個別計画として位置づけされているのが「富良野市地球温暖化防止計画」であります。

■温暖化防止は地球的テーマ

地球温暖化の影響は、気候変動、農作物の収穫量の変化が地球規模で起こり、洪水の多発、干ばつ、海面上昇による国土の水没、疾病の発生などが予想され国際的にも重要な課題となっている。本年8月に開催された

洞爺湖サミットの主要テーマとして取り上げられました。

■本市の課題と調査のねらい

本市においては、ごみの分別、リサイクル対策の取り組みは全国的にも高い水準にありますが、温室効果ガスの排出は、市民の日常生活や事業活動など、あらゆる社会活動に起因する事から市民、事業者そして市が、それぞれの役割や取り組みについて理解し、日常的な環境行動に結びつく推進体制が重要です。

最初の調査地である坂戸市の特色ある取り組みについて、紹介させていただきます。

「坂戸市緑と花と清流基金」は、坂戸市の自然環境を、市民との協働で次代へ残す取り組みとして16年に設立されました。15年度のごみ排出量を基準に、削減量1kg当たり5円換算で基金に積み立てるもので、基金は植林や雨水タンク設置補助など環境保全事業全般に対する資金として、運用されております。市民にとって、自分達の努力が次世代の環境保全に役立っているという実感があり、啓発活動の有効な手法であると思います。

■都市事例調査は温暖化対策

川越市は、市職員の率先的な行動から始まった「1%節電運動」をステップアップさせた

本委員会では、7月16日から18日までの3日間にわたり埼玉県坂戸市、川越市、千葉県浦安市において、事務調査のテーマである「地球温暖化防止対策」の取り組みについて調査を行いました。3市共にISO14001の認証取得をしており、環境問題に対する市職員、市民の意識改革の大きな原動力と成っている事が窺われました。3市の特色ある取り組みについて、紹介させていただきます。

浦安市は19年11月にISO14001認証を返上し、20年4月から浦安市版環境マネジメントシステムに移行しております。

内部審査を強化するほか、第三者監査制度を導入し、対外的にも信頼性の高いシステムを目指しております。



環境政策の拠点施設

■開放型病床は継続審査に

保健福祉委員会より、平成20年第2回定例会において許可を得ました調査第2号「開放型病床について」の調査経過について御報告を申し上げます。

富良野市における「開放型病床」は、昨年の地域センター病院（富良野協会病院）移転とともに始まり、これまで、およそ一年間にわたり、病病・病診連携として運用が行なわれてきたところであります。

富良野医師会は、開放型病床数について、急性期病床、今後の経営、共同利用による拡充等を重点に検討のうえ20床とし、重要な「医療の継続性」が実現され、患者にとっても安心の得られるシステムとなると結論づけております。

保健福祉委員会として今後は、先進都市の事例調査を実施し、開放型病床等の調査を深めたいことから、今回は中間報告といいたします。



酒田夢の俱楽前にて

事務調査「農村観光都市の形成について」の調査の経過と結果について報告致します。中間報告以後、都市事例調査も合せて行い調査を進めてきました。市政執行方針の中で①農業と観光の融合による地域振興をめざし、農村と都市の交流を進めます。②大地で営まれる農業、美しい農村風景、豊かな自然景観この三つが融合し、観光振興を図る。③移住定住対策については、情報の発信やPR活動を通じ定住及び都市と農村の交流を進めています。そして、代表質問の答弁では、様々な課題が訪れる様になつたのが始まりで、日常の営みの中に農業、農村風景、自然景観があり、市民の暮しが観光資源となつている等の意見がありました。しかし、本調査の課題は行政がどのように観光に携わるのかであり、この事を論点に進めてきました。

農業と観光の融合による地域振興を図る施策は、農業計画の中で具体的に示されると推察しますが確証は得ていません。いずれにしても行政は、どの様に舵取りをし、農業、農村、自然景観等のバランスを保ち、さらには新たな農業計画や観光振興計画は5月に策定され、併せて議論してきたところであります。

各委員からの質疑や意見は調査から一貫し、特に議論が集中したのは「農村観光都市」とはどの様なもので、その意義は何なのか。そして、その事を目指すためには、具体的には何をどうしなければならないのか。

今までの富良野観光は自然観光であり、そこには人が訪れる様になつたのが始まりで、日常の営みの中に農業、農村風景、自然景観があり、市民の暮しが観光資源となつている等の意見がありました。しかし、本調査の課題は行政がどのように観光に携わるのかであり、この事を論点に進めてきました。

横手市の「食と農からのまちづくり」は、食のまちづくり宣言を行い、食の産地としての社会的役割を果たすことで食を通して全国に発信し「食で潤うまち」を目指しています。

酒田市「観光物産館酒田夢の俱楽」では、古くからの歴史、文化による多くの資源に恵まれ、行政が強力なリーダーシップの基に観光行政に取り組んでいます。両市とも将来のまちづくりを基本に観光行政に取り組んでいる姿を感じました。

農業者を育てるためどの様にすべきか、より具体的な方策を立てるべきであります。

また、観光振興計画に示された指針については、早急に具体的な施策を熟考の上、広く市民に周知し、事業推進を図る事が肝要であります。以上を記し事務調査の報告とします。

次に第2回定例会において許可を得ました、都市事例調査について報告致します。

7月14日～16日の三日間にわたり、秋田県横手市、山形県酒田市の観光行政について調査をしてまいりました。

横手市の「食と農からのまちづくり」は、食のまちづくり宣言を行い、食の産地としての社会的役割を果たすことで食を通して全国に発信し「食で潤うまち」を目指しています。

議会改革特別委員会

■地方議会・議員の役割

本特別委員会は平成19年5月改選後の第2回臨時会において設置され議会改革の方向性と具体的な取組について議論を重ねて参りました。議会は住民を代表する機関であり、政策などの意思決定機関であります。

また、住民代表として、こうあってほしいという視点で議会論議を行い、批判監視する事も議会の役割です。更に批判監視をするだけではなく、論議をし提言をする機関であるという事を議員個々が、自覚をし行動することが重要であります。

■議会情報の提供と開示

従来、議会から市民への情報発信の不足が指摘され、その必要性については強く認識しているところであります。議会情報の提供で具体化されたもの。

①議会（一般質問）の告知ポスターの掲示。

②議会独自のホームページ開設。

③ラジオによる代表質問の試験

- ④議会広報の読みやすい紙面づくりなどがあげられます。

■今後の課題について

今後、議論を進めてゆく課題。

- ①反問権の取り扱いについて。
- ②議員研修の充実。

③ラジオの効果的活用について。（本放送に向けた取組み）

- ④住民参加の手法について。（議会報告会、一般会議等）具体的に検討をして参ります。

反問権については、一般質問の申し合わせ事項で、理事者は、一般質問中に議長の許可を受け、質問者に質問の本旨を確認する事ができるとあり、9月の第3回定例会において、この事を徹底する旨を理事者に対し、促したところであります。

反問権の付与に関し第3回定期例会の経過を踏まえて今後の委員会の中で検討して参ります。

- 常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の都市事例調査を行います。
- 事務調査

平成19年度決算審査特別委員会を設置

◇平成19年度の一般会計外各会計決算が、監査委員（松浦惺氏、横山久仁雄氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定例会に提案されました。

◇また、9月24日の定例会閉会後に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、19年度決算の総括説明を受けました。

【一般会計・特別会計】

- ・一般会計歳入歳出決算
- ・国民健康保険特別会計”
- ・介護保険特別会計”
- ・老人保健特別会計”
- ・公設地方卸売市場事業特別会計”

【企業会計】

- ・公共下水道事業特別会計”
- ・簡易水道事業特別会計”
- ・ワイン事業会計決算
- ・水道事業会計決算

【各所管審査日程】

11月12日 (水)	保健福祉部・看護専門学校・経済部
11月13日 (木)	建設水道部 教育委員会
11月14日 (金)	総務部 歳入総括
11月17日 (月)	予備日

上記日程にて傍聴できます。

委員会名	調査件名	調査番号
保健福祉委員会	①地域医療について ②子育て支援について	①長野県飯山市 ②埼玉県本庄市

議会日誌

7月

- 31日・第1回臨時会
 - ・議会運営委員会
 - ・総務文教委員会
 - ・議員協議会

8月

- 1日・第2回臨時会告示
 - ・串内草地組合議会
- 5日・経渃建設委員会
- 8日・第2回臨時会
 - ・保健福祉委員会
- 18日・議会運営委員会
 - ・総務文教委員会
- 19日・議会改革特別委員会
 - ・保健福祉委員会

9月

- 1日・沿線議会議長会
- 2日・第3回定例会告示
- 5日・議会運営委員会
 - ・代表者会議
 - ・総務文教委員会
- 9日・第3回定例会(1日目)
 - ・決算審査特別委員会
- 16日・第3回定例会(2日目)
 - ・議会広報特別委員会
- 17日・第3回定例会(3日目)
- 24日・第3回定例会(4日目)
 - ・決算審査特別委員会
- 26日・保健福祉委員会
 - ・議会改革特別委員会
- 30日・総務文教委員会
 - ・沿線議会議長会議員研修会

10月

- 3日・環境衛生組合議会
 - ・消防組合議会
- 14日・議会広報特別委員会
- 15日・総務文教委員会
- 16日・第3回臨時会告示
- 17日・保健福祉委員会
- 20日~21日
 - ・道北支部議長会
- 21日・議会広報特別委員会
- 22日~23日
 - ・富良野広域連合議会
- 23日・第3回臨時会
- 24日・沿線議会議長会
 - ・経渃建設委員会
- 28日・全国市議会議長会基地
協議会北海道部会総会
- 28日~30日
 - ・保健福祉委員会都市事例調査



議会ホームページが変わりました

議会ホームページ、多くの皆様にご利用いただきありがとうございます。「この度、見やすく分かりやすくを念頭に置き、リニューアル致しました。内容は議長挨拶、議員紹介、会議録、請願と陳情、議会だより、傍聴の方法、その他の事柄を掲載しました。どうぞご覧ください。今後も、議会に対しご指導賜ります様お願いいたします。

- **道路整備に必要な財源の確保に関する意見書**（大栗民江議員外6名）
- ◇ 第3回定例会に提案された意見書は次の2件です。
いずれも可決後、直ちに関係機関に送付しました。

可決された意見書

傍聴してみませんか

平成20年第4回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日程】

- | | |
|-------------|------|
| • 12月8日(月) | 開会日 |
| • 12月15日(月) | 一般質問 |
| • 12月16日(火) | 一般質問 |
| • 12月17日(水) | 予備日 |
| • 12月19日(金) | 最終日 |

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程をご確認ください。
多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ 議会事務局 Tel 39-2322

編集後記



会事務局職員1名で、わかりやすい紙面づくりに挑戦しています。

▼一般質問では、質問した議員自らが作成した原稿、提出された写真を、議会広報特別委員会で構成・編集作業を進め、発行まで4回開催しています。

▼市民の皆様の意見が反映されたりになっているだろうか、また、議会の思いがわかりやすくなる伝えできたであろうかと思

いながら、毎回が創刊号との気持で編集しています。

▼市議会だよりをお読みいただきます。

議会広報特別委員
大栗民江